

**この街で
みんなと強くなろう!**

**募集中
消防団員**

仲間といっしょに
街を支え、守ろう

【お問い合わせ先】

消防団や入団に関する詳しい情報は
【消防団オフィシャルウェブサイト】をご覧ください。

FDMA
防災のために
総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

消防団員募集中

よくある質問 現役の団員さんに聞いてみました!

Q. 消防団の
やりがいを
教えてください。

A. 消火活動や災害時の救助救出活動。
避難誘導など、地域住民の安心・安全を守る
という社会貢献に携わることです。
また、様々な職種・幅広い世代の方との
交流やつながりを深めることができます。

Q. 活動は
ボランティアなの?

A. 報酬があります。
年ごとに支給される報酬や、
災害活動・訓練に出動した際の報酬などが
あります。



【応急手当訓練】



小幡市消防本部提供

【消火・防災訓練】



笠間市消防本部提供

【防火指導】



小幡市消防本部提供

【水防訓練】



松戸市消防局提供

【避難誘導】



松戸市消防局提供

【編集後記】「クマ被害を防げ」

今年は、クマの出没件数が過去最大のペースで推移しており、これに伴い人身被害も拡大し、11月20日の時点での死者数は13人に及んでいる。市街地にまで現れ、学校や民家に侵入し居座ったりしており、お年寄りを襲う場面や建物に突進する画像を見ると恐怖というほかない。里山の荒廃やエサの不足などにより「棲み分け」の領域がくずれているのだろう。当面の対応として捕獲の強化が必要だ。出沒地域での防除やパトロール体制の強化、捕獲者の確保・育成が急がれる。人命のためやむを得ない場合、市街地での発砲による「緊急銃猟」も認められた。関係省庁や自治体が連携して実効性の高い対策を早急に実施してもらいたい。

住民や旅行者も常にクマの出没情報を確認し、安全を確保できる行動に努めることが必要だ。都市の中心市街地にまで姿を現わす状況である。他人事と思って警戒を怠ってはならない。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2025年12月号（通巻65号）

■発行日 令和7年12月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 高尾 和彦

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号（日本消防会館内）

TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851

URL <https://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社